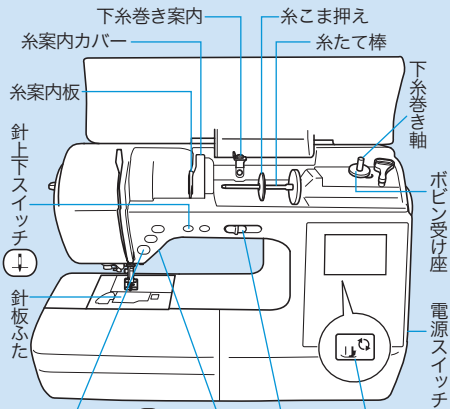


まず 下糸の準備

操作する箇所の名称は下図で確認してください。



サイズの違うボビンは故障の原因となります

11.5 mm

ボビンを正しくセットしないと、針折れや糸調子不良の原因となります

かんたん操作ガイド

EML14/15シリーズ

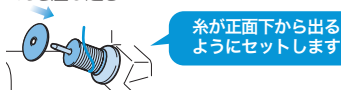
最初に取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。詳しい手順が取扱説明書に記載されています。このガイドと合わせて必ずお読みください。

このガイドは、すぐに見られるように保管してください。

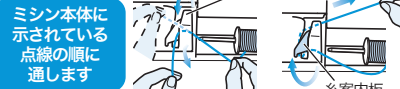
1. ボビンのミゾと下糸巻き軸バネの位置を合わせてセットし、カチッと音がするまで右側に押す



2. 糸たて棒を起こし糸こまをセットし、糸こま押えを差し込む



3. 糸を糸案内カバーの後ろに通してから、糸案内板の下を通す



4. 凸部に下から糸をかけ、下糸巻き案内に糸をかける



5. 糸を時計回りに5~6回巻き付けて、ボビン受け座のガイドミゾに引っ掛け、糸の端を切る



6. 下糸を巻く速度を調節する



7. 電源スイッチを「入」にする

8. 針上トスイッチを押して下糸巻きを始める

9. 糸巻きが終わり、回転が遅くなったら針上トスイッチを押して止める

10. 糸を切り、下糸巻き軸を「カチッ」と音がするまで左へ戻し、ボビンを抜く



11. スピードコントロールレバーをもとに戻す

12. 針上下スイッチを1回または2回押して、針を上げる

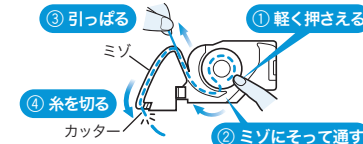
13. 針・押え交換キーを押して、キーとスイッチをロックする

14. 押えレバーを上げる

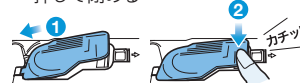
15. ツマミを右へ動かし針板ふたを外す

16. 糸が左巻きになるようにしてボビンをかまに入れる

17. ミゾにそって引っぱりながら糸を通し、最後にカッターで切る



18. 針板ふたの突起部を差し込み、上から押して閉める

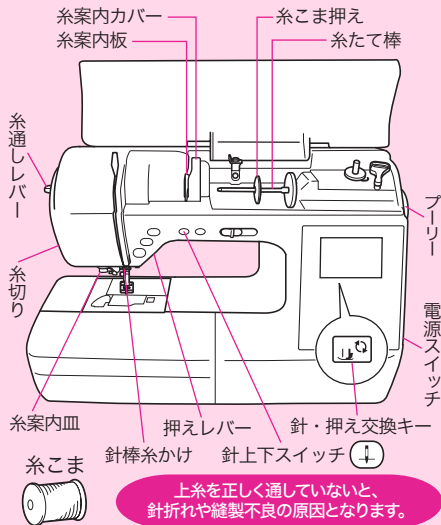


19. 針・押え交換キーを押して、キーとスイッチのロックを解除する

次に 上糸の準備 裏面へ

次に 上糸の準備

操作する箇所の名称は下図で確認してください。



上糸を正しく通していないと、針折れや縫製不良の原因となります。

かんたん操作ガイド

EML14/15シリーズ

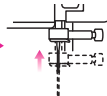
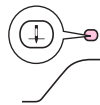
最初に取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。詳しい手順が取扱説明書に記載されています。このガイドと合わせて必ずお読みください。
このガイドは、すぐに見られるように保管してください。



D029M5-101①

1. 電源スイッチを「入」にする

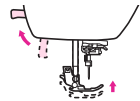
2. ④ (針上下スイッチ) を1回または2回押して、針を上げる



針上下スイッチで針を上げないと糸が正しくかかりません

3. ⑤ (針・押え交換キー) を押して、キーとスイッチをロックする

4. 押えレバーを上げる



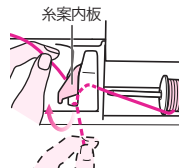
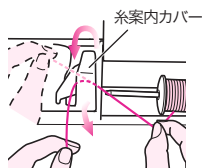
押えレバーが下がったままでは糸が正しくかかりません

5. 糸たて棒を起こし糸こまをセットし、糸こま押えを差し込む

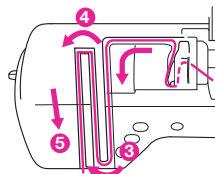


糸が正面下から出るようにセットします

6. 糸を糸案内カバーの後ろに通してから、糸案内板の下を通す

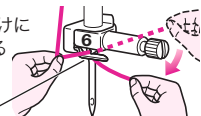


7. ミゾにそって糸を通す



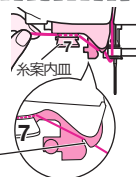
ミシン本体に示されている実際の番号順に通します

8. 番号6の針棒さかけに糸をかける



針棒さかけ

9. 糸ガイドのミゾにかけたら、番号7の糸案内皿のすき間に糸をしっかりと入れる

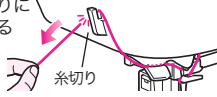


糸ガイドのミゾ

10. 押えレバーを下げる

押えレバーが上がったままでは糸通し装置でうまく糸が通りません

11. 糸を糸切りにかけて切る



糸切り

12. 糸通しレバーを「ガチャ」と音がするまで下げ、レバーから手を離す

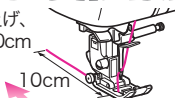


糸通しレバー

13. 糸の輪を後ろ側へ引き、針穴から糸の端を引き出す



14. 押えレバーを上げ、上糸を後ろへ10cmほど引き出す



10cm

15. ⑤ (針・押え交換キー) を押して、キーとスイッチのロックを解除する

下糸を引き上げなくてもOK!
これでぬい始められます!